大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学
連合小児発達学研究所教授会記録

日時 平成30年4月5日(木)午後4時00分～午後4時43分
場所 各校講義室にて遠隔講義システムにより開催
出席者 (大阪校) 谷池研究科長、佐藤副研究科長、片山研究科長補佐、池田教授、大菌教授、
酒井教授
(金沢校) 横山副研究科長、菊知教授、小林教授、柴教授、堀教授
(浜松校) 尾内教授高貝教授、土屋教授、山末教授
(千葉校) 平野副研究科長、清水教授、中川教授
(福井校) 松崎副研究科長、安倍教授、大嶋教授、小坂教授、友田教授 計23名
欠席者 (大阪校) 井村教授、畑澤教授
(金沢校) 三邊教授
(浜松校) 武井副研究科長 計4名
[合計27名]

議 事

◇ 議事に先立ち、研究科長からの挨拶に引き続き、新たに構成員となった小林宏明教授(金沢校:教授会規程第1条第1項第1号に基づく構成員)からの挨拶、並びに研究科長から、3月1日(木)開催の教授会記録の確認があった。

【 報告事項 】

1. 副研究科長等会議報告について
研究科長から、配付資料に基づき、報告があった。
2. 研究科ホームページのリニューアルについて
研究科長から、配付資料に基づき、本研究科ホームページをリニューアルした旨報告があった。
また、ロゴマーク使用の希望がある場合は、大阪校事務まで問い合わせるよう説明があった。
3. 世界自閉症啓発デーの取り組みについて
研究科長から、配付資料に基づき、今回の世界自閉症啓発デーにおける取り組みについて報告があった。
4. 学位記授与式における研究科代表者、及び入学式における宣誓代表者について
研究科長から、本年3月22日に举行された平成29年度学位記授与式において、研究科代表者として清家かおるが壇上に上がり、また、本年4月3日に举行された平成30年度大学院入学式では、全研究科による輪番により本研究科入学者が宣誓代表者を務めることで、川崎知美が宣誓を務めた旨報告があった。

【 協議事項 】

1. 平成30年度における本研究科の体制について
研究科長から、配付資料に基づき、前回教授会において平成30年度の本研究科の体制として、「専任・兼任教員等一覧」、「教員組織状況表」、「教授会構成員」、「役職・委員会・担当教員一覧」について承認後、一部変更があった旨説明があり、協議の結果、承認された。
研究科長から、平成30年度の本研究科管理運営及び教育研究について、協力要請があった。

2. 平成29年度計画達成状況報告書等について

研究科長から、配付資料に基づき、本研究科の平成29年度計画に対する達成状況報告書等の案について、大阪校教員で作成した旨説明があり、協議の結果、承認した。

なお、今後、修正の必要が生じた場合は、研究科長に一任することを併せて承認した。

3. クロス・アポイントメント制度に関する協定書（案）について

佐藤副研究科長から、配付資料に基づき、協定書（案）について説明があり、協議の結果、承認された。

なお、大学間の調整で生じた軽微な加筆修正については、研究科長に一任することとした。

4. 【大阪校】こころの発達神経科学講座特任講師（常勤）選考について

佐藤副研究科長から、候補者「ティロン イシノ シーナ」について、配付資料に基づき説明があり、投票の結果、承認された。また、上記3の協定書のとおりクロス・アポイントメントを適用する旨、併せて承認された。

5. 指導教員について

平野副研究科長から、配付資料に基づき、講師である大島郁葉を本年4月から指導教員とすることについて説明があり、協議の結果、承認された。

6. 研究科長選考規程の一部改正案について

研究科長から、配付資料に基づき、大学や各部局の教育研究活動や組織運営をより円滑にかつ連携して実施すること、また、学内及び部内の業務の連続性やバランス等を整理することを目的として、総長、理事及び部局長任期の始期を将来的に4月1日に統一していく大阪大学の意向に沿って改正を行う旨説明があり、協議の結果、承認された。

7. 平成31年度入学試験について

片山研究科長補佐から、配付資料に基づき、平成31年度入学試験について、これまで入試担当者会議、及び副研究科長等会議で協議し、次のとおり提案された旨説明があり、協議の結果、承認された。

- ・ 選抜にCEFRの対照表に掲載されている英語試験のスコアを用いること。
- ・ 選抜方法として、新たにプレゼンテーションを取り入れること。
- ・ プレゼンテーションでは、受験者がレジユメを配り、それを基に発表する。
- ・ 入試に関係する日程について、配付資料のとおりとすること。
- ・ 承認された入試に関する日程、及び選抜方法等については、本研究科のホームページで公開すること。

8. 学位審査委員（主査・副査）の選出について

研究科長から、配付資料に基づき、教務担当者会議にて承認された学位審査委員（主査・副査）について説明があり、協議の結果、承認された。

9. 学生の異動等について

研究科長から、配付資料に基づき、学生から指導教員、及び研究領域の変更について申請があった旨説明があり、協議の結果、承認された。

また、平成30年度入学の学生についても、配付資料に基づき承認された。

以上